

# 情報化施工に関する欧州調査報告会のご案内

情報化施工(ICTを活用した施工方法)は、生産性の向上、熟練技術者不足・技能者不足への対応、発注環境の変化や品質確保の重要性の高まりへの対応などを実現する革新的な施工技術として期待が高まっています。日本においては、産学官の連携の下、平成20年7月に「情報化施工推進戦略」が策定され、情報化施工の本格的な普及を目指した試験施工等の取り組みが各方面で進められています。

今回、国内における情報化施工の本格的な普及に向けた取り組みの参考とするために、普及が進んでいる欧州における情報化施工の取り組み状況や技術動向に関する調査を実施しましたので、下記にて報告会を開催いたします。

## 記

【開催日時】 平成22年2月10日(水)15:00~17:00

【開催場所】 機械振興会館 地下2階ホール(東京都港区芝公園3丁目5-8)(定員200名)

【参加申込】 事前にFAX又はメールで参加登録をお願いします。(参加無料)

【主催】 社団法人 日本建設機械化協会 情報化施工委員会

【問合せ先】 社団法人 日本建設機械化協会 情報化施工委員会事務局 阿部  
TEL:03-3433-1501(代表) FAX:03-3432-0289 E-Mail:t-abe@jcmanet.or.jp

【プログラム】(※プログラムは都合により変更する可能性があります)

15:00 (開会挨拶)

立命館大学理工学部 教授(情報化施工推進会議委員長) 建山和由

15:10 (欧州における情報化施工の動向調査報告)

1. 全体概要と政府機関の取り組みについて(15:10~15:50)

1) 全体概要とスウェーデン道路公社の取り組み

(社)日本建設機械化協会 技師長 齋藤清志

2) ライン州道路公社(ドイツ)、ドイツ交通研究所(BAST)の取り組み

(独)土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム 主席研究員 藤野健一

2. 技術動向について(15:50~16:30)

1) Machine Control (Excavator Guidance) について

(社)日本建設機械化協会 施工技術総合研究所 篠原雅人

2) IC(Intelligent Compaction)について

(株)大林組 生産技術本部 基盤技術部 上席技師 古屋 弘

3. 日本での最近の取り組みについて(16:30~16:50)

1) 日本と海外での取り組みの違いについて

国土交通省 総合政策局 建設施工企画課 課長補佐 荒井 猛

16:50 (質疑)

17:00 (閉会)

以上